

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

日々、清掃を実施しており、清潔な環境の維持を心がけている。

B：児童への支援内容

児童が飽きないように、ジャンル分けをして活動を実施している。

C：関係機関との連携

定期的に相談員と関係者会議等を実施。
必要に応じて連携をしている。

D：保護者への説明責任・信頼関係

適切に果たしている。

日々、信頼構築に努めている。

E：非常対応

定期的に避難訓練を実施。

緊急時対応のスキルアップに努めている。

保護者による評価

A：環境面

十分なスペースが確保。(80%以上の回答)

B：児童への支援内容

90%以上が支援内容に満足との回答。

C：事業所からの情報発信

保護者同士の連携の機会が少ない点が課題。

D：非常対応

適切に実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 施設の環境面の満足度。
- ② 児童への支援内容への取り組み（事業所）に対して、客観的な評価（保護者）が高い。

【相違点】

保護者会等の開催が少なく、保護者連携の機会が少ないという意見があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・利用児が毎回の活動を楽しみに通所している。
- ・職員の離職率が低い為、利用児にとって安定した人的環境を提供する事が出来ている。
- ・送迎がない為、毎回同じメンバーで同じ活動を継続する事が出来る。

事業所の改善点

- ・保護者会の機会を作り、保護者同士の連携・情報共有の場を今後検討していきたい。

事業所の改善への取り組み

年度後半に、未知の新型コロナウイルスの感染が拡大した為、人が多く集まらないような運営に転換した。

新型コロナの感染拡大の収束が見通せる時期になったら、定期的な保護者会・講習会の開催を企画していきたいと思う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所による自己評価と保護者による事業所評価の比較をする事で、普段運営をしている事業所には見えない課題が浮き彫りになった。

こういう機会がある事で、客観的な視点で、運営する事が出来、事業所の成長・改善につなげる事ができると感じている。

今後も、利用児・保護者の最善の利益を追求したサービス提供をするために、役立てていきたい。

事業所名：発達応援団ピュアキッズ中田

担当者： 須藤